

ガイダンス時のアンケートにて頂いた ご意見・ご質問と葛飾区の考え方

頂いたご意見・ご質問に対する区の考え方を以下にお示します。

貴重なご意見・ご質問をいただきありがとうございました。今後の取組の参考にさせていただきます。

(1) 「発災から避難生活に向けて」の内容について

ご意見・ご質問	葛飾区の考え方
<p>1. 資料1のP7.区部全体の数が区民約45万人に対して相違があるように思われる。</p>	<p>首都直下地震等による東京の被害想定に関する表中の、「東京湾北部地震」及び「都心南部直下地震」については、葛飾区における被害想定を記載しております。ご指摘の「区部全体」とは、表の一番右の「区部全体（令和4年度）」に関する内容と推察します。こちらの「区部全体」は、東京都23区（東京都内の区部）全体の意味で、参考データとして被害想定を掲載しております。説明が不足しており、大変申し訳ございませんでした。</p>
<p>2. 資料1のP11.避難所は授業再開後にも収容する余裕がありますか。</p>	<p>授業再開の前提としては、住宅の修繕や応急仮設住宅の建設等が進み、避難者の生活先がある程度確保できてからとなります。ただし、避難者の生活先の確保が長期化するなど、状況によっては体育館などを避難所として使用しながら、順次空いた教室で授業を行う可能性もございます。</p> <p>実際に、東日本大震災や熊本地震において、学校再開後も体育館などの一部施設を避難所として使用していた事例もございます。</p>

(3) 講義「『地域のまとまりが、早期の復興を促す』～阪神・淡路大震災からの学び～」の内容について

ご意見・ご質問	松原氏からのご意見
<p>1. 地域の絆は大事であることは充分承知していますが、実情はそれが下町高砂では（町会・自治会の能力の低下から）希薄になっているので期待ができません。ゆえに住民同士が調整するのが困難と思います。やはり専門家（行政等）からの調整役が必須と思いました。そのため、行政サイドの使命と責任と思いました。松原氏の御見解をお願いします。</p>	<p>ご質問ありがとうございます。確かに自治会の力の低下は神戸でも全般的な傾向としてあり、ご苦労されている地区がほとんどです。神戸のような専門家派遣の仕組みも、一般化されていないので、難しさがあると思います。ただ、一方で、神戸でも専門家なしですばらしい活動をされている地区もございます。そうした地区では、専門家のような第三者的立場の調整役を、住民の中のどなたかが担われている場合が多いです。住民の声を聞き、行政の立場も理解して、活動を推進しておられます。また少数ではありますが、地域に魅力を感じた行政職員の方が、そのような役割を担われる場合もあります。</p> <p>また、これも地域によるのですが、比較的若い30～40歳代の方でも、地域活動に関心を持たれる方もおられ、積極的に役割を担われている場合もあります。ただ、これらの方々には傾向として、自治会等の組織に属することを敬遠される傾向がありますので、留意が必要です。地域によっては、PTAや青少協の中から、そのような人材が現れる場合もあります。</p> <p>さらに、力が落ちてきた地域団体では、解散する道を選ぶのではなく、隣接し、同じような課題を抱えておられるところと連携して活動される場合もあります。</p> <p>いずれにしましても、地域のまとまりを継続させようとする、地域の主体性が前提とならざるを得ません。それを成り立たせるためには、やはり地域の中、もしくはその関係者の中から、人材を探し出す必要があるかと存じます。</p> <p>難しいかもしれませんが、上に挙げたような</p>

属性の方々に、お声がけをされることから始めてみられるのも、よいかと思います。繰り返しくなりますが、①同じ自治会等におられる、同じような気持ちを持った方、②同じ地域におられ、自治会等には所属しないけれど地域を舞台に活動しておられる方（商店主、子育て団体等に所属される方など）、③PTA や青少協に所属されている、責任感を持った方、④隣接する自治会等の地域団体の役員等、⑤地域に関心を持ってくれる若手行政職員、などです。思いつく方がおられれば、その方から、別の人材をご紹介いただき、そこから広げていくことなども考えられます。

葛飾区さんでも、「葛飾区区民参加による街づくり推進条例」により、街づくり活動団体に対して、専門家の派遣費用の補助などを行っているとお聞きしております。担当の方に、条例の内容について相談してみるのもよいかと思います。

なお、調整に関する技術（ファシリテーション等）については、各所で研修などが行われております。また、東京で活躍されている、防災やまちづくりに関心のある専門家（民間コンサルタント）もたくさんおられます。区役所を通じてのご紹介程度は、お願いできるのではないかと思います。

なかなか、直接的な答えにならず、申し訳ありません。ただ、自分の地域のことは他人任せにしても、うまくは進まない場合が多い（一過性のものになる可能性が高い）ですので、困難はあろうかと思いますが、試みていただければと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

その他のご意見

ご意見・ご質問	葛飾区の考え方
<p>1. 防災マップをもらったが、避難所の役割は分かるが一時集合場所の役割が分かりづらい。(分からない)。</p>	<p>一時集合場所は、各自治町会が指定しており、地域の皆さんの安否確認や必要なら避難場所に避難する体制づくりのために最初に集まる場所です。</p> <p>今後の行動を判断するために、近所の方々と被害状況等の情報交換を行う場所としての役割があります。</p> <p>もし近くで火災が発生していて延焼の危険がある場合には、避難場所へ避難をする流れになります。</p>
<p>2. 資料3と4について、細田3丁目町会は細田2丁目と3丁目が含まれます。細田2丁目の避難場所は奥戸運動場なので、細田3丁目町会の一時集合場所は、細田小学校ではなく奥戸小学校のほうが、便が良いと思います。</p>	<p>一時集合場所は、必ずしも1か所に定める必要はございませんので、いただいたご意見をぜひ自治町会内で共有し、再度ご検討いただけたらと存じます。その後の手続きについては地域防災課までお問い合わせください。</p>
<p>3. 行政（葛飾区）に対して要望。震災後の復興も大事なファクターだと思いますが、防災についてはトータルで対策する必要があり、自主防災計画とか、どういう単位で防災対策を進めていくとか、復興の前にも大事なことがあります。ここを抜きにしては、トータルな防災対策とは言えないと思います。</p>	<p>区では、区・区民・防災関係機関が協働し、地震や水害等の災害に対する予防・災害応急・復興対策を実施するために、葛飾区地域防災計画を作成し、各自治町会に配布して広く周知しており、区ホームページでも確認することができます。また、「自主防災計画」の作成につきましては、各自治町会での作成をお願いしており、区と地域で防災のあり方について考える地域別地域防災会議の中で作成を進めている自治町会もございます。</p> <p>今回は復興に焦点を置いた取組として、震災復興まちづくり訓練を実施しておりますが、発災直後の防災対策や防災計画について、アンケート等でご意見・ご質問をいただければ、適宜ご回答させていただきます。</p>

<p>4. 防災倉庫の中に水とカンパンを、町会か区で用意したら良いと思いました。よろしくお願い致します。</p>	<p>ご指摘の防災倉庫は、防災活動拠点である公園内の防災倉庫と推察いたします。防災活動拠点は、ご自宅が無事であっても電気・ガス・水道などのライフラインが使用できない場合の生活拠点としての機能を整備しています。そのため、救助活動や炊き出しなどの資器材を防災倉庫に格納する必要があり、保管スペースにも限りがあるため、水や食料などの備蓄品はございません。</p> <p>水や食料などの備蓄品に関しては、避難所の備蓄倉庫に備蓄しておりますので、お手数ですが、最寄りの避難所での受け取りをお願いいたします。</p>
<p>5. (避難場所の運営について) 責任者は誰になるのでしょうか? 組織的に運営できる仕組みになっているのでしょうか? そうであれば、トレーニングはできているのでしょうか?</p>	<p>ご指摘の内容については避難場所ではなく、避難所の運営に関することだと推察します。</p> <p>学校避難所につきましては、施設の責任者として学校長、運営の責任者として自治町会長などの避難所運営本部長を配置し、小・中学校周辺の自治町会や教職員等で避難所運営組織を結成しています。発災直後は、区職員や教職員等による開設を予定していますが、徐々に避難者や町会が主体となる運営の仕組みとなっています。また、区では避難所運営に関する会議や訓練を支援し、発災直後に自主的な避難所の開設と運営が行える体制を構築しています。</p>
<p>6. 地域単位で全焼等で全壊状態になった場合、葛飾区行政サイドの「まちづくり計画」の青写真はすでにできているのでしょうか?</p>	<p>区では、都市計画マスタープランの地域別構想において、地域ごとの普段のまちづくり方針を定めています。また、同プランの全体構想では、「震災復興まちづくりの方針」を定め、地域の特性に応じた、取り組むべき事業手法のイメージを示しています。今回の震災復興まちづくり訓練では、こうしたまちづくりの方針を踏まえながら、地区単位の被害想定をもとに復興まちづくり計画骨子案を作成し、区と地域とで内容を共有し、震災発生に備えることとしています。</p>

<p>7. 中林先生のパワーポイント資料がとてもよかったので、次回にでもいただけると助かります。</p>	<p>区では、各回の訓練資料を後日区ホームページで公開しておりますが、中林先生のパワーポイント資料についても、区ホームページで公開しますのでぜひご覧いただけたらと思います。</p>
--	--